

授業科目 カウンセリング技法

科目コード番号

【担当教員名】 伊東正裕	対 象 学 年	1	対 象 学 科	全科共通
	開 講 時 期	後期	必修・選択	選択
	単 位 数	1	時 間 数	15

【概要】

対象者を理解し、適切に援助するためには、面接によって相手の話を聴くことがまず必要である。したがって対人援助者の専門性は、彼の行う面接の質によって測られると言える。

この授業では、カウンセリングを広くとらえ、対人援助に携わる者が行う心の相談のための面接について、その基本的な姿勢や技法を習得し、対人援助者としての面接の質を高めることを目標とする。

【使用図書】

教科書・参考書等	書 名 等	著 者 名	発 行 所	発行年・価格・その他
教科書	面接法	熊倉伸宏	新興医学出版社	2002年・1500円＋税
参考書	授業の際にその都度紹介する。			
その他配布資料				

【評価方法】

出席・レポート（期末試験）

【履修上の留意点】

学生は、積極的な態度で参加すること。

【本科目の一般教育目標：GIO (General Instructional Objective)】

対象者の心理的な問題の解決を援助するために、カウンセリングの基礎的な技法を理解し、対象者に接する準備をする。

【行動目標：SBO (Specific Behavioral Objectives)】

1. 医療・保健・福祉分野におけるカウンセリング（面接）の重要性を説明できる。
2. カウンセリングとは何かを説明できる。
3. カウンセリングの限界や問題点を説明することができる。
4. カウンセラーの倫理について列挙できる。
5. カウンセラーの基本的な姿勢について説明できる。
6. 対象者をよく見ること、訴えをよく聴くことができる。
7. 対象者の訴えを理解し、受けとめようとするすることができる。
8. 対象者に適切な問いかけをし、問題の核心をつかもうとすることができる。
9. カウンセリングの基本的な技法について、自分の意見を述べるすることができる。
10. カウンセリングの技法、理論を学び続ける意欲を持つことができる。

授業計画

教室 _____

回数	授業内容	SBO 番号	担当教員	教授学習法	学習課題 又は 備考
1	はじめに カウンセリング学習の意味・目的 心の相談と専門家の役割 この授業の受け方	1	伊東正裕	講義	プリント
2	カウンセリングとは何か すぐれた面接とは 面接という方法 カウンセリングの限界と問題点 カウンセラーの倫理	2、3 4	同上	講義	同上
3	カウンセリングの実際 カウンセラーの基本的姿勢 初回面接 面接のゴール	5	同上	講義	同上
4	カウンセリングによる情報 来談理由 観察による情報 見立て	6、7 8	同上	講義	同上
5	カウンセリングの構成要素と基本的技法 聴くこと 見ること 問いを立てる 出会い 専門的關係	6、7 8	同上	講義	同上
6	カウンセリングの展開 分かること 受けとめること 面接後の処置	6、7 8	同上	講義	同上
7	カウンセリングを学ぶ カウンセリング理論の学び方 実際のカウンセリング	9、10	同上	講義 ビデオ	ビデオ

その他